

膀胱がん

【聖路加国際病院ロボット手術センター】

<膀胱がんの治療選択肢>

01 経尿道的手術

- 膀胱の筋層まで浸潤がない場合

02 膀胱全摘術

- 経尿道的手術で完全切除できないような大きさや数が多い場合
- 膀胱筋層まで浸潤がある場合
- BCG治療で治らない上皮内がん

03 抗がん剤

- 転移がある場合
- 膀胱全摘術の前後で補助的に行う場合

<膀胱全摘術の方法>

01. 開腹手術

従来の標準的な治療
です

02. 腹腔鏡手術

低侵襲※で傷が小さく
体への負担が少ない
ですが、特に縫合に
おいて技術的に難し
い手術です

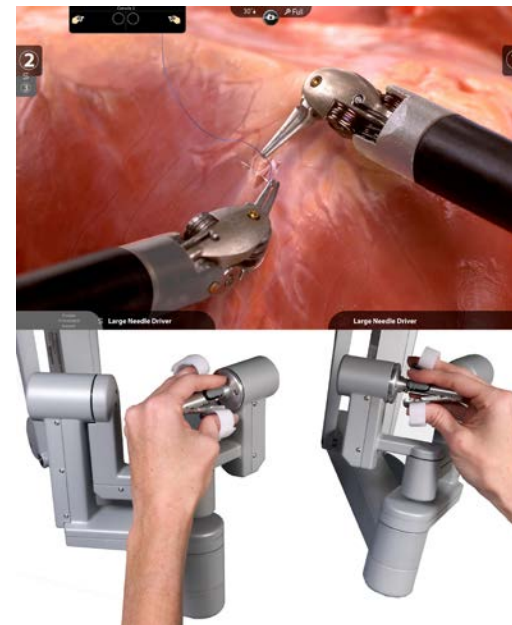
03. ロボット支援手術

腹腔鏡手術の良さに加え、
欠点を克服し、**傷が小さく
痛みが少ない手術**です

※低侵襲…手術・検査に伴う痛み・出血などをできるだけ少なくすること

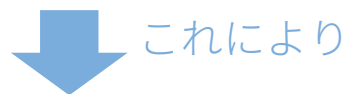
<ロボット支援手術とは>

腹腔鏡手術をさらに発展させた手術方式です。
高解像度3Dカメラ画像を見ながら、微細な動きを実現できるロボットアームを操り、
より安全で体への負担が少ない手術を行えます。



<ロボット支援手術のメリット>

ロボット支援手術は、
より正確で、より安全な手術が可能となります



メリット 開腹手術に比べ、傷が
01 小さく、痛みや出血が
少ない手術です

メリット 従来の手術に比べ、リンパ節の除去（郭清）
02 がより容易、かつ完全な除去が可能です

メリット 開腹手術と異なり、臓器が空気にさらされないため、体液の喪失が少なく、腸などへの影響を小さくできます
03

<ロボット膀胱全摘術の術後経過例>

入院期間：3～4週間

1日目	手術前日	入院	
2日目	手術当日	手術	絶飲食
3日目	手術翌日		歩行、食事再開
7日目			抜糸
8日目～	術後6日目～		●回腸導管の場合：集尿袋の交換の練習など ●新膀胱の場合：蓄尿・排尿の訓練など
3～4週目		退院	